

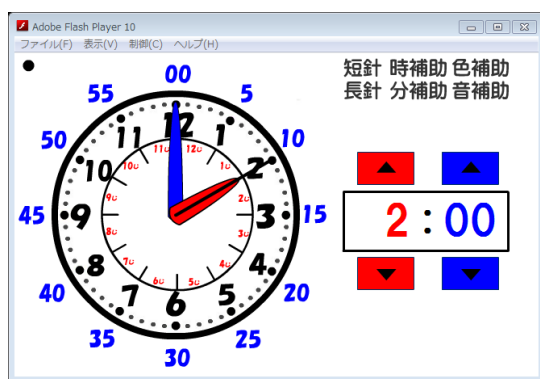
学習支援機能を選択できる

時計教材

時計教材の概要

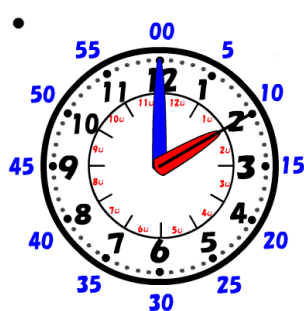
時計提示教材のデジタル版です。アナログ時計と連動してデジタル時計が表示されることで、今何時を指しているのかを知ることができます。特徴として、学習実態に応じて、針と時刻に関連づける色の補助や、文字盤による支援などを一つ一つ自由に設定することができます。

画面構成



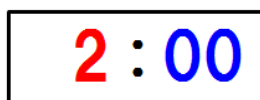
図は全ての支援機能を有効にしたものです。

アナログ時計表示部分



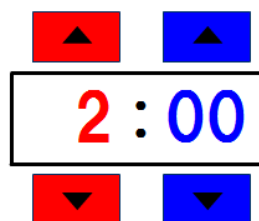
アナログ時計表示部分です。針の色や、表示切り替え、時刻を読むための文字盤支援などが表示される部分です。針の操作は時計操作ボタンで行います。

デジタル時計表示部分



デジタル時計表示部分です。時・分をそれぞれ個別に非表示にすることが可能です。

時計操作ボタン



デジタル時計表示部分にある4つのボタンで、デジタル時計の時と短針を、デジタル時計の分と長針をそれぞれ操作できます。

通常は非表示で操作ボタン近くにマウスカーソルが移動した際に表示されます。また、カーソルキーによる操作にも対応しています。

支援機能操作ボタン

短針 時補助 色補助
長針 分補助 音補助

学習支援の有功無効を切り替えるボタンです。

通常は非表示で操作ボタン近くにマウスカーソルが移動した際に表示されます。

支援機能一覧

「短針・時」読みへの支援機能

- ・短針だけの表示
- ・「時」読み補助の表示
- ・短針・長針への色補助
- ・時刻の変化による音
- ・短針の延長線の表示
- ・デジタル「時」表示

「長針・分」読みへの支援機能

- ・長針だけの表示
- ・「分」読み補助の表示
- ・短針・長針への色補助
- ・時刻の変化による音
- ・デジタル「分」表示

その他の支援機能

- ・時計操作ボタンを常に表示
- ・時進むボタンの有効化
- ・時戻るボタンの有効化
- ・分進むボタンの有効化
- ・分戻るボタンの有効化
- ・支援機能操作のロック
- 支援機能の詳細は次のページ以降に示します。

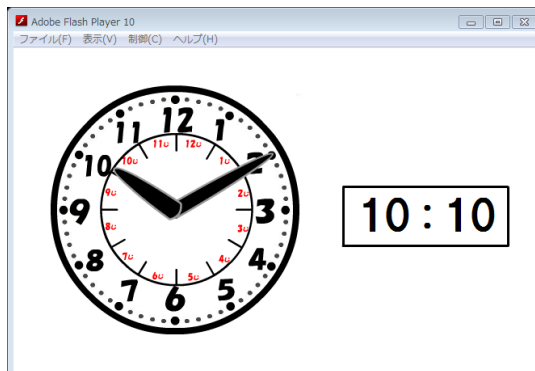
支援機能について

これらの支援機能は、重複して利用することができます。

「時」の読み補助を表示

zi_mojiban=[on/off]

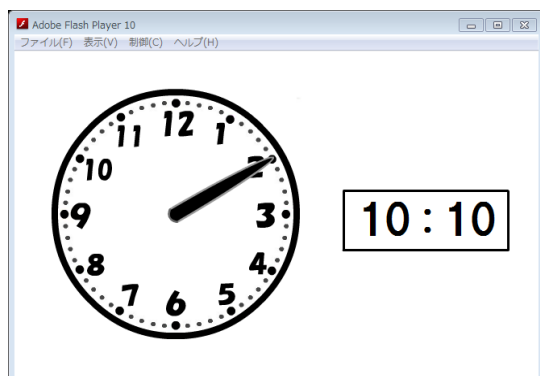
【時補助】をクリック



短針を非表示

tan_shin=[on/off]

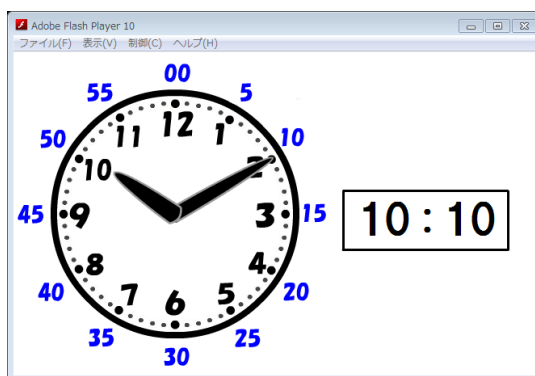
【短針】をクリック



「5分単位」の「分」読み補助を表示

hun_mojiban=[on/off]

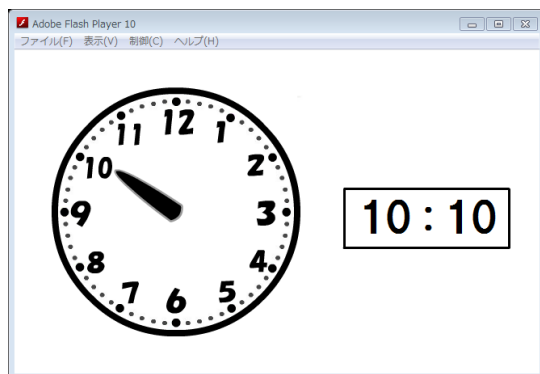
【分補助】をクリック



長針を非表示

tyo_shin=[on/off]

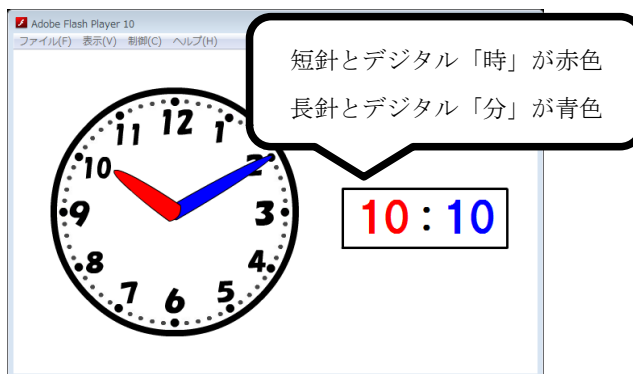
【長針】をクリック



短針・長針への色補助

iro=[on/off]

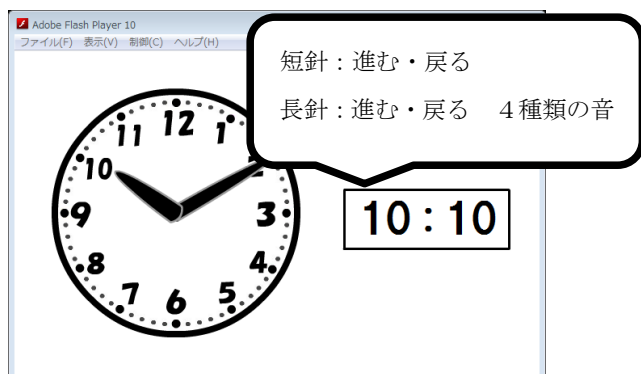
【色補助】をクリック



音の補助

oto=[on/off]

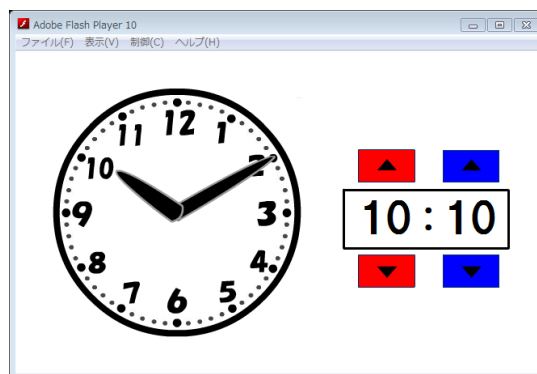
【音補助】をクリック



時計操作ボタンを常に表示

btm_hyozi=[on/off]

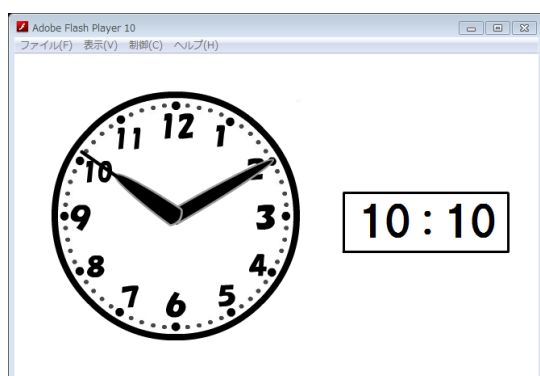
【setting.txt】の【btm_hyozi=】を【on】に設定



短針の延長線を表示

tanshin_hozyo=[on/off]

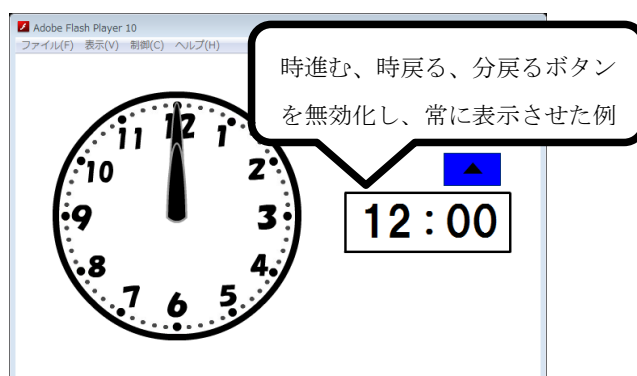
【アナログ時計上の短針】を直接クリック



時計操作ボタンの個別無効化

zi_up/zi_down/hun_up/hun_down=[on/off]

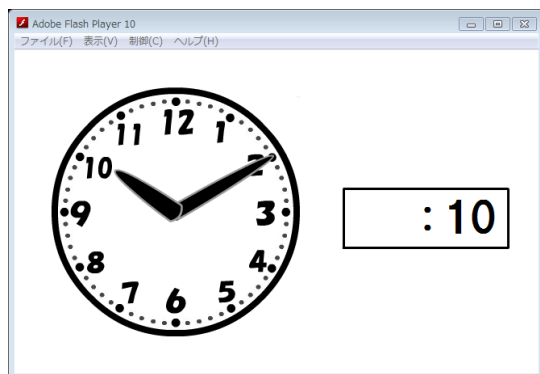
【setting.txt】の【zi_up=】等を【off】に設定



デジタル表示の非表示

zi_mask/hun_mask=[on/off]

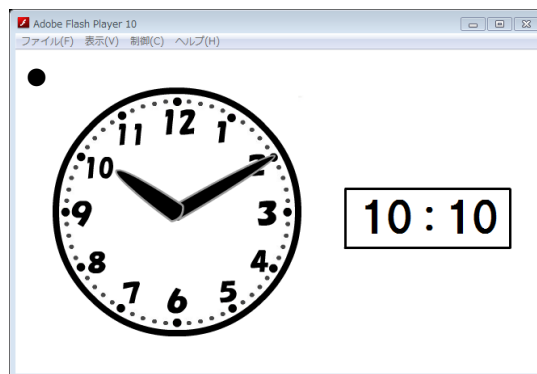
【デジタル時計上の数字】を直接クリック



支援機能操作のロック

shien_lock=[on/off]

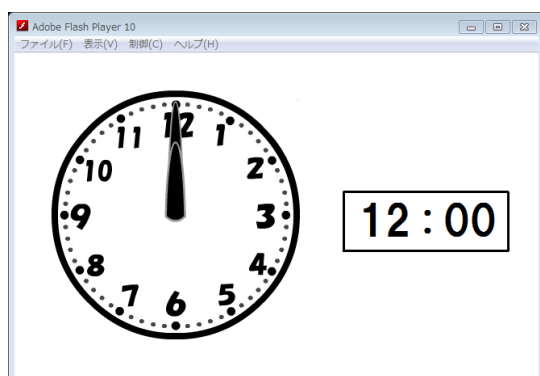
【画面左上の●】を直接クリック



時計読み教材の初期状態

支援機能は基本的に全て無効化されています。

- ・ 12時00分
- ・ デジタル時表示 ON
- ・ デジタル分表示 ON
- ・ マウスカースルを時計操作ボタン位置に移動することで、時計操作ボタンの表示
- ・ 支援機能操作 有効

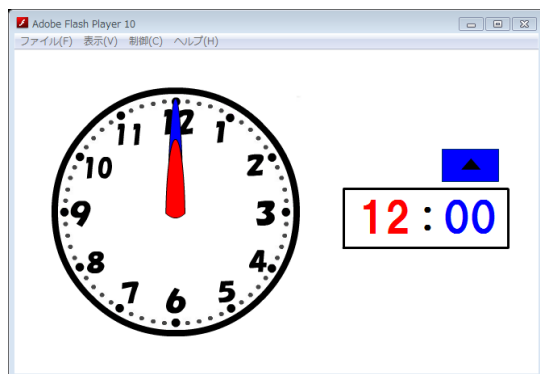


時計読み教材の初期状態の変更

時計教材実行ファイルと同じ場所に [setting.txt] を置き、支援機能に対応する値を設定することで、時計読み教材の初期状態の変更をすることができます。

下図は、「短針・長針の色補助」「時計操作ボタンを常に表示」を有効化し、「時進むボタン」「時戻るボタン」「分戻るボタン」を無効化したものです。

setting.txt を変更し有効化するには、時計読み教材を再起動する必要があります。



setting.txt

```
iro=on&btm_hyozi=on&zi_up=off&zi_down=off  
&hun_down=off
```

setting.txt について

setting.txt の書式は

支援機能変数 = on または off

複数の支援機能について設定する場合は、それぞれの設定 “&” でつなぎます。

支援機能変数の一覧は、下記の表の通りです。

支援機能変数	初期値	説明
tan_shin	on	短針の表示
tyo_shin	on	長針の表示
zi_mojiban	off	「時」読み補助の表示
hun_mojiban	off	「分」読み補助の表示
iro	off	短針・長針への色補助
oto	off	時刻の変化による音
tanshin_hozyo	off	短針の延長線の表示
zi_mask	off	デジタル「時」表示
hun_mask	off	デジタル「分」表示
btm_hyozi	off	時計操作ボタンを常に表示
zi_up	on	時進むボタンの有効化
zi_down	on	時戻るボタンの有効化
hun_up	on	分進むボタンの有効化
hun_down	on	分戻るボタンの有効化
shien_lock	off	支援機能操作のロック

初期状態の setting.txt

```
tan_shin=on&tyo_shin=on&zi_mojiban=off&hun_mojiban=off&iro=off&oto=off&tanshin_hozyo=off&zi_mask=off&hun_mask=off&btm_hyozi=off&zi_up=on&zi_down=on&hun_up=on&hun_down=on&shien_lock=off
```

動作環境

WindowsXP 以降のコンピュータで動作します。

インストール・実行方法

① 展開・コピー等を行い、次の2つのファイルを
同じ場所に置きます。

- ・ octime5_select_xx.exe (xx はバージョン番号)
- ・ setting.txt

② octime5_select_xx.exe を実行します。

アンインストール方法

① 以下のファイルを削除します。

- ・ octime5_select_xx.exe (xx はバージョン番号)
- ・ setting.txt